

第 76 回定期総会

宮崎勝 参議院総務委員長祝辞

全国町村議会議長会定期総会の開催に当たり、参議院総務委員会を代表して、一言御挨拶を申し上げます。

昨年元日に発生した令和6年能登半島地震を始め、昨今は、豪雨、台風、大雪などにより、各地に甚大な被害がもたらされました。これらの災害で犠牲となられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災され今なお不自由な生活を余儀なくされている全ての方々に、お見舞いを申し上げます。また、被災者の方々への支援、被災地の復旧・復興のために御尽力されている方々に心より敬意と感謝を申し上げます。

本日、御列席の皆様には、地域社会の活性化と住民福祉の向上のため、日頃より献身的な御尽力を賜り、深く敬意を表しますとともに、衷心より感謝を申し上げます。あわせて、表彰の榮譽に浴された皆様に対し、心からお祝いを申し上げます。

さて、昨年の通常国会においては、第33次地方制度調査会の答申を踏まえた地方自治法の改正が行われたところです。本改正は国民の安全に重大な影響を及ぼす事態における国と地方公共団体の責任と権限を明確化するものであり、これまで同様、地方自治の重要性はなんら変わるものではありません。

また、一昨年の通常国会においては、地方議会の役割や議員の職務等を明確化することなどを内容とする地方自治法の改正が行われました。本改正の趣旨を踏まえ、多様な人材の議会への参画に取り組み、住民の負託に応えていただくとともに、住民との信頼関係の醸成や地域の諸課題について充実した審議を行い、議会の存在感を更に高められますよう、よろしくお願い申し上げます。

一方、地方が抱える課題は、人口減少への対応、防災・減災対策、デジタル化の推進など山積しております。令和7年度の地方財政対策においては、こうした政策課題への対応を行った上で、前年度を上回る一般財源総額が確保されるとともに、臨時財政対策債については制度創設以来、初めて発行額がゼロとなりました。今後も安定的な財政運営に必要な一般財源

総額の充実・確保を大前提としつつ、将来世代のためにも財政の健全化を進めていくことが重要であります。

私ども参議院総務委員会といたしましても、皆様方の声を受け止めながら真摯な議論を行い、委員会の審議等を通じ、地域社会が活力を持ち、維持・発展できるよう、引き続き努力してまいります所存です。

結びに、全国町村議会議長会及び各地方議会の一層の御発展とともに、御列席の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和7年2月5日

参議院総務委員長 宮崎 勝